

株式会社ジェイコムウエスト
第二回（平成 26 年 12 月度） 放送番組審議会 議事概要

第二回の放送番組審議会は、平成 26 年 12 月 11 日（木）、株式会社ジェイコムウエスト本社において、4 名の委員が出席して開かれた。

会議では、会長の進行のもと、『関西 TODAY』9 月 24 日放送号を視聴し、番組に関する審議を行った。

■ 出席委員

会 長	梶原 義秀	（門真地区保護司会 理事）
副会長	平井 宏	（箕面自由学園 理事長）
委 員	川村 輝夫	（いけだ市民文化振興財団 理事）
	長友 文子	（和歌山大学 教授）

■ 審議番組

J:COM チャンネル 午後 7 時 58 分～午後 8 時 27 分放送

『関西 TODAY』

平成 26 年 9 月 24 日（木） 放送号

■ 主な発言

・他の地上波各局でニュース番組が放送されていない時に、地域のニュース番組が視聴できるのは良い。

・番組内のコーナーである「まちかど注意報」は大変参考になると思うが、軽犯罪の発生事例をもう少し詳しく紹介してくれれば更に役立つのではないか。

・月曜日から金曜日の毎日、放送されているとは知らなかった。内容も大変良く、時間が合えば今後見てみたいと感じた。

・子供を狙った犯罪は許されないもので、決して他人事ではない。街頭インタビューでもコメントされていたが、保護者の防犯意識がまだまだ低いと思うのは同感。番組自体が防犯意識を高めてもらおうという事を視聴者に心がけて制作されていることが伝わってきた。さらにひとつ踏み込んで、社会的な背景や価値観の変化などコメントや取材出来ればもっと良くなるのではないだろうか。

・「まちかど注意報」はこれまで他の地上波ではなかった試みで、地域に結び付いた役立つ情報で大変良いと思った。さらに踏み込んだ取材をという意見も出たが、制作側の体制を組むのも大変だと思う。今回視聴した放送では、発生した事件にともない当初の予定を変更した構成を急遽組み直し、取材も行ったことは、素晴らしい決断だと感じた。

・ニュースをどこまでやるのかという判断は大変難しいと思う。NHK や民放が取り扱う大きな事件、世界的な事柄など、同じように独自取材を行うことはなかなか難しい。逆に、「まちかど注意報」のような放送は、大きな局では出来ない。地域に特化した内容を続けていけば良いのではないか。地元の動向に常にアンテナをはり、出来ればもう少し深く、タイムリーな情報を放送して欲しい。

・特集の予定を変更して、今起きている事を見たいと思う視聴者にとってよい事だと思った。「まちかど注意報」は地域の特化した情報で、大変興味深く見られた。各警察署のキャラクターが配置されていたり、背景の色使いも綺麗で良かった。

・防犯情報など注意しなければいけない事は、日本人だけでなく番組を視聴する外国人も知りたい事だと思う。外国人にも伝わりやすい表現をすることで、子供やお年寄りにもより理解してもらえるアナウンスになるのではないだろうか。

・キャスターやコメンテーターの紹介が番組開始後テロップで表示されるが、番組途中からご覧になった視聴者がいれば、誰がコメントしているのかわからないと思う。ネームプレートを置いたりする工夫が欲しいと感じた。

・取り扱う内容にもよると思うが、キャスターの表情が硬いと感じた。

・全国ニュースが最初に紹介されるが、関西のニュースだけで構成しても良いのではないか。一方、関西のニュースのみで番組を埋めるのも大変だと思うが、関西 TODAY という番組の果たす役割を考え、社会全体に啓蒙すべき事柄を対談したり、いろんな表現の仕方があると思うので、頑張ってもらいたい。

これらの発言いただいたご意見を、現場の制作スタッフや関係者にフィードバックし、今後の制作に役立てることを事務局よりお伝えし、番組審議会を終了した。

以上